

福岡県医発第1454号(地)
平成20年10月 8日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義 武
(公 印 省 略)

医師確保のための実態調査について (お願い)

標記の件につきまして、日本医師会より標記調査の協力依頼が別紙のとおりありました。

そこで、平成20年10月2日開催の本会第20回全理事会で協議の結果、本調査に協力することとなりました。

本調査は、各病院における医師確保の現状や必要医師数、地域における医師の偏在・不足やその影響、各都道府県における施策等について把握するために行われるもので、調査対象は、都道府県医師会及び全国の病院となっています。

つきましては、貴会におかれましても対象病院より本調査について、お問合せ等ありましたら、ご協力賜りますようご高配方よろしくお願いいたします。

なお、

1) 調査依頼は、日本医師会より直接対象病院へ行われております。

2) 都道府県医師会調査票の設問に「問1. 二次医療圏別の医師の偏在・不足」

「問2. 二次医療圏別にみて、特に医師が不足している診療科及び診療領域」について回答しなければなりませんので、急なお願いで大変恐縮ですが趣旨ご理解いただき、貴会の医師不足などの状況について別紙にご回答の上、10月16日(木)までに本会地域医療課宛FAX(092-411-6858)にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医業経営担当理事 廣瀬真恵
会長 丸山 泉

調査が参りましたらご協力よろしくお願いいたします。

(別 紙)

福岡県医師会地域医療課 行

FAX : 092-411-6858

医師確保のための実態調査回答票

問1. 貴会において医師の偏在・不足について、どのようにお考えですか？

- ・該当箇所に「○」を付けてください。
- ・(3)「偏在あり」の設問は、(1)(2)の回答に関わらず、その二次医療圏の中で偏在がある場合に「○」をつけてください。

[illegible]

問2. 貴会において、特に医師が不足している診療科および診療領域はどこだとお考えですか？

- ・医療圏全体で医師が不足しているとお考えの診療科または診療領域に「○」を付けてください。
- ・「産科・産婦人科」は分娩を扱う医師の不足についてお答えください。

[illegible]



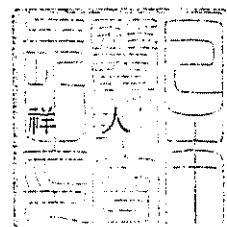
日医発第 649 号 (地 I 124)

平成 20 年 9 月 24 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

唐 澤



医師確保のための実態調査について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、本会では、各病院における医師確保の現状や必要医師数、地域における医師の偏在・不足やその影響、各都道府県における施策等について把握するため、「医師確保のための実態調査」を実施することといたしました。

本調査は、都道府県医師会及び全国の病院を対象とし、具体的な目的、要領や内容等は、別添「医師確保のための実態調査について」及び調査票のとおりであります。本調査結果は日医総研において分析し、今後、本会が医師確保対策を立案する上で貴重な資料とさせていただきます。

貴会におかれましては、会務ご多忙の折誠に恐縮ではありますが、本調査にご協力いただくとともに、貴会管下病院に対する調査の実施についてご了知いただきますようお願い申し上げます。

追って、病院に対する調査につきましては、本会より直接、対象病院に調査票等を送付しておりますことを申し添えます。



添付資料

- ・ 医師確保のための実態調査について
- ・ 都道府県医師会調査票
- ・ <参考> 病院調査票
- ・ 日医総研ワーキングペーパーNo. 171「二次医療圏別に見た医師の偏在と不足」（2008年8月20日 前田由美子主席研究員）

医師確保のための実態調査について

平成20年10月1日実施
社団法人 日本医師会

1. 調査の目的、対象

	目 的	対 象
都道府県 医 師 会	都道府県または都道府県医師会が行った医師確保対策のうち、全国で活用することのできる医師確保対策を把握する。	全都道府県医師会
病 院	地域、病院種別、病床規模別等の視点から、医師不足・偏在が顕著な分野を洗い出し、医師確保対策の優先度、重要度の決定に資する。	(1)平成20年度臨床研修プログラムに参加する病院 (全数):2,435 ・臨床研修指定病院 2,302(単独型・管理型1,004、協力型1,298) ・大学病院133 (2)精神科病院 約230(1,079マイナス上記(1)の3/10抽出) (3)一般病院 約2,900((7,734マイナス上記(1)の1/2抽出)

2. 調査の基準日:平成20年10月1日(水)

3. 回答の締切日:両調査ともに、平成20年10月20日(月)必着

4. 調査票の返送先:日本医師会「医師確保のための実態調査」事務局

新情報センター内(入力業務委託先)

お問い合わせ先

日本医師会地域医療第1課(青木・西田)

TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140

E-Mail chiiki_1@po.med.or.jp

医師確保のための実態調査
都道府県医師会調査票(2008年10月1日現在)

社団法人 日本医師会

都道府県番号

医師会名	
ご連絡先	※調査内容について問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。貴会名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することはありません。 ご担当部署: _____ (ご担当者名: _____) 電話番号またはメールアドレス: _____

問1. 二次医療圏別の医師の偏在・不足について、どのようにお考えですか？

- ・二次医療圏名をご記入の上、該当箇所「✓」してください。
- ・(3)「偏在あり」の設問は、(1)(2)の回答に関わらず、その二次医療圏の中で偏在がある場合に「✓」してください。
 例えば、ある二次医療圏全体では医師数が「充足」しているが、圏内をみると、ある地域では不足し、他の地域では充足している場合は「偏在あり」になります。

二次医療圏名 (ご記入ください)	(1) 病院医師数の充足・不足					(2) 診療所医師数の充足・不足					(3) 偏在あり
	充足 01	ほぼ充足 02	どちらとも 言えない 03	やや不足 04	不足 05	充足 01	ほぼ充足 02	どちらとも 言えない 03	やや不足 04	不足 05	
01											
02											
03											
04											
05											
06											
07											
08											
09											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
都道府県全体											

問2. 二次医療圏別にみて、特に医師が不足している診療科および診療領域はどこだとお考えですか？

二次医療圏名をご記入の上、医療圏全体で医師が不足しているとお考えの診療科または診療領域に「✓」してください。

「産科・産婦人科」は分娩を扱う医師の不足についてお答えください。

二次医療圏名 (ご記入ください)	内科	小児科	精神科	外科	泌尿器科	脳神経外科	整形外科	眼科	耳鼻いんこう科	産科・産婦人科	皮膚科	麻酔科	救急医療
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
01													
02													
03													
04													
05													
06													
07													
08													
09													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
県全体													

書ききれない場合は、以下に二次医療圏および診療科または診療領域をご記入ください。

問3. 貴医師会または貴都道府県では、医師確保のためどのような対策を講じられましたか？

また医師不足・偏在解消効果はありましたか？

該当箇所に「✓」してください。

書ききれない場合は、別紙を添付いただいても構いません。

対 策	(1) 実施主体					(2) 医師不足・偏在 解消効果				
	医師会 単独	行政等 から受託	医師会・行政等 が共同 実施	行政等が 単独で 実施	その他	かなりあ った	ややあ った	今後期待 できる	今後も期 待できな い	わから ない
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
医師・医療機関										
01 ドクターバンク、紹介予定派遣など										
02 女性医師再就業支援事業(含女性医師バンク)										
03 教育研修の実施 (かかりつけの医師、初期救急医療、各疾病ガイドラインの普及など)										
04 連携、情報共有のための会議の設定 (医療機関の連携、医療関係職種との連携)										
05 医師派遣システムの構築 (大学・国公立病院等から地域の医療機関への派遣)										
06 県域を越えた連携 (医師の相互供給、ドクターヘリの共同運航など)										
大学・研修医										
07 地域の病院等への医師供給を要請 (国公立公的病院への要請を含む)										
08 大学に医学部の地域枠や奨学金の設定を要請										
09 研修医およびいわゆる後期研修医等のネット ワーク作り										
患者・地域住民										
10 受療行動に関する啓発 (市民講座、パンフレット等、受診までのフローチャート等)										
11 医療機関情報の提供 (ホームページでの診療情報の提供など)										
12 小児救急電話相談事業(#8000)										
13 一般向けの電話相談事業(上記12を除く)										
上記以外の対策があれば、内容をご記入の上、該当箇所に「✓」してください。										
貴会で把握されている郡市区医師会の対策があれば、内容をご記入の上、該当箇所に「✓」してください。										

「医師確保のための実態調査」 ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の会務にご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて今般、本会では、病院における医師確保の現状、医師の偏在・不足やその影響、必要医師数等について把握するため、「医師確保のための実態調査」を実施することといたしました。

本調査では、全国の病院（①平成20年度臨床研修プログラムに参加する全病院、②精神科病院（1／5抽出）、③一般病院（1／2抽出））を対象としております。

具体的な調査目的、要領や内容等は、別添「医師確保のための実態調査について」及び調査票のとおりであります。本調査結果は日医総研において分析し、今後、本会が医師確保対策を立案する上で貴重な資料とさせていただきます。

つきましては、貴院におかれましては、業務ご多忙の折誠に恐縮ではありますが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお誠に恐れ入りますが、ご回答は同封の返信用封筒を使用し、平成20年10月20日（月）までに必着となるよう、お送りいただきたくお願いいたします。

敬具

平成20年9月

病院管理者（病院長） 殿

日本医師会長

会長 唐 澤 祥 人

医師確保のための実態調査 一病院調査票(2008年10月1日現在)一

社団法人 日本医師会

2008(平成20)年10月1日現在の状況でご記入ください。

該当箇所に○を付けるか、ご記入下さい。

選択肢の「その他」を選択された際には、()にもご記入ください。

※調査内容について問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することはありません。

1. 施設名															
2. 所在地	都・道・府・県	市・郡・区	区・町・村												
3. 開設者	01 国^{*1)} 02 都道府県・市町村^{*2)} 03 公的医療機関^{*3)} 04 社会保険関係団体^{*4)} 05 公益法人(医師会除く) 06 医療法人 07 学校法人 08 社会福祉法人 09 個人 10 医師会 11 その他() *1) 独立行政法人、国立大学法人を含みます。 *2) 地方独立行政法人、公立大学法人を含みます。 *3) 公的: 日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会 *4) 社会保険関係団体: 全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合														
4. 病院種別	01 一般病院	02 精神科病院	03 その他()												
5. 許可病床数	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr> <td>精神病床</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>感染症病床</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>結核病床</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>療養病床</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>一般病床</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>床</td> </tr> </table> (再掲)療養病床のうち 介護保険適用分 _____ 床			精神病床	床	感染症病床	床	結核病床	床	療養病床	床	一般病床	床	合計	床
精神病床	床														
感染症病床	床														
結核病床	床														
療養病床	床														
一般病床	床														
合計	床														
6. 平成20年度臨床研修プログラム参加状況等	01 大学附属病院 02 単独・管理型臨床研修指定病院(大学病院以外) 03 協力型臨床研修指定病院(大学病院以外) 04 臨床研修指定病院ではない														
7. 臨床研修病院になった時期	2008年度の新医師臨床研修プログラム参加病院(大学病院含む)のみ、○をつけてください。 01 新医師臨床研修制度、導入より前(2003(平成15)年度まで) 02 新医師臨床研修制度、導入以降(2004(平成16)年度以降)														
8. 研修医数	01 卒後2年未満の研修医(新医師臨床研修制度での初期研修医) _____ 人 02 いわゆる後期研修医 _____ 人														
ご連絡先	※調査内容について問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することはありません。 ご担当部署 : (ご担当者名) 電話番号またはメールアドレス:														

問1. 診療科別医師数(2008年10月1日現在)をご記入ください。

下記の診療科は、平成20年4月1日施行の広告可能な診療科名の改正に基づいています。
 該当する診療科が下記にない場合は、読み替えが可能な最も近い診療科目を選択してください
 (同時期に実施中の厚生労働省「医療施設調査」と同じ扱いです)。以下、同じ。
 また、医師数には、研修医数も含めてください。

		常勤医師数		非常勤医師数		
			うち女性 医師数	実数 (アタマ数)	うち女性 医師数	常勤換算 小数点第2位 四捨五入
I	01 内科	人	人	人	人	人
	02 呼吸器内科	人	人	人	人	人
	03 循環器内科	人	人	人	人	人
	04 消化器内科(胃腸内科)	人	人	人	人	人
	05 腎臓内科	人	人	人	人	人
	06 神経内科	人	人	人	人	人
	07 糖尿病内科(代謝内科)	人	人	人	人	人
	08 血液内科	人	人	人	人	人
	09 皮膚科	人	人	人	人	人
	10 アレルギー科	人	人	人	人	人
	11 リウマチ科	人	人	人	人	人
	12 感染症内科	人	人	人	人	人
	13 小児科	人	人	人	人	人
	14 精神科	人	人	人	人	人
	15 心療内科	人	人	人	人	人
II	16 外科	人	人	人	人	人
	17 呼吸器外科	人	人	人	人	人
	18 循環器外科(心臓・血管外科)	人	人	人	人	人
	19 乳腺外科	人	人	人	人	人
	20 気管食道外科	人	人	人	人	人
	21 消化器外科(胃腸外科)	人	人	人	人	人
	22 泌尿器科	人	人	人	人	人
	23 肛門外科	人	人	人	人	人
	24 脳神経外科	人	人	人	人	人
	25 整形外科	人	人	人	人	人
	26 形成外科	人	人	人	人	人
	27 美容外科	人	人	人	人	人
	28 眼科	人	人	人	人	人
	29 耳鼻いんこう科	人	人	人	人	人
	30 小児外科	人	人	人	人	人
	31 産婦人科	人	人	人	人	人
	32 産科	人	人	人	人	人
	33 婦人科	人	人	人	人	人
III	34 リハビリテーション科	人	人	人	人	人
	35 放射線科	人	人	人	人	人
	36 麻酔科	人	人	人	人	人
	37 病理診断科	人	人	人	人	人
	38 臨床検査科	人	人	人	人	人
	39 救急科	人	人	人	人	人
	40 歯科	人	人	人	人	人
	41 矯正歯科	人	人	人	人	人
	42 小児歯科	人	人	人	人	人
	43 歯科口腔外科	人	人	人	人	人
44 合計		人	人	人	人	人

※内訳と合計が合致していることをご確認ください。

問2. 貴院の医師数は、おおむね5年前と比べてどう変化しましたか。
医師数全体の増減と、その内大学等からの供給医師についてご回答ください。

医師数には、研修医数も含めてください。

診療科別と病院全体の該当箇所に「✓」してください(5年前または現在、存在する診療科・部門のみ)

「大幅減少」は△5割以上、「減少」は△3～5割程度、「やや減少」は△1～2割程度を目処にしてください。

	(1) 医師数全体の増減						(2) 大学や公的病院等から供給を受けている医師					
	増加 01	増減 なし 02	減 少				増加 01	増減 なし 02	減 少			
			いなく なった 03	大幅 減少 04	減少 05	やや 減少 06			いなく なった 03	大幅 減少 04	減少 05	やや 減少 06
01 内科												
02 皮膚科												
03 小児科												
04 精神科												
05 外科												
06 泌尿器科												
07 脳神経外科												
08 整形外科												
09 形成外科												
10 美容外科												
11 眼科												
12 耳鼻いんこう科												
13 産科・産婦人科												
14 婦人科												
15 リハビリテーション科												
16 放射線科												
17 麻酔科												
18 病理診断												
19 救急医療												
20 病院全体												

※ 本調査においては、上記「01内科」および「05外科」の内訳は、下記のとおりとしています。

内科: 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、
糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、
心療内科

外科: 外科、呼吸器外科、循環器外科(心臓・血管外科)、乳腺外科、気管食道外
科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科

問3. 貴院では、過去5年間で、医師不足により以下のようなケースがありましたか？

診療科別と病院全体の該当箇所に「✓」してください。

(過去5年間に存在した、または現存する標榜診療科・部門のみ)

医師不足が理由であるものに限ります。

	病棟閉鎖・ 病床縮小 01	外来の 閉鎖・休止・ 縮小 02	夜間等の救 急対応休止 03
01 内科			
02 皮膚科			
03 小児科			
04 精神科			
05 外科			
06 泌尿器科			
07 脳神経外科			
08 整形外科			
09 形成外科			
10 美容外科			
11 眼科			
12 耳鼻いんこう科			
13 産科・産婦人科			
14 婦人科			
15 リハビリテーション科			
16 放射線科			
17 麻酔科			
18 病理診断			
19 救急医療			
20 病院全体			

※ 本調査においては、上記「01内科」および「05外科」の内訳は、下記のとおりとしています。

内科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、
糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、
心療内科

外科：外科、呼吸器外科、循環器外科(心臓・血管外科)、乳腺外科、気管食道外
科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科

このページは、必ず病院管理者(病院長)の方のご回答をお願いします。

問4. 現在(2008年10月1日)、医師不足を感じておられますか？

医療法上の医師配置標準を満たしているか否かにかかわらず、実感としての主観的なお答えで結構です。

医師数には、研修医数も含めてください。

診療科別(現在標榜されている科のみ)および病院全体の該当箇所に「✓」してください。

	充足 01	ほぼ充足 02	どちらとも 言えない 03	やや不足 04	不足 05
01 内科					
02 皮膚科					
03 小児科					
04 精神科					
05 外科					
06 泌尿器科					
07 脳神経外科					
08 整形外科					
09 形成外科					
10 美容外科					
11 眼科					
12 耳鼻いんこう科					
13 産科・産婦人科					
14 婦人科					
15 リハビリテーション科					
16 放射線科					
17 麻酔科					
18 病理診断科					
19 救急科					
20 病院全体					

※ 本調査においては、上記「01内科」および「05外科」の内訳は、下記のとおりとしています。

内科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、
糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、
心療内科

外科：外科、呼吸器外科、循環器外科(心臓・血管外科)、乳腺外科、気管食道外科、
消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科

このページは、必ず病院管理者(病院長)の方のご回答をお願いします。

問5. 貴院にとっての最低必要医師数は何人ですか？

医療法上の医師配置標準を満たしているかどうかにかかわらず、貴院の役割や機能から見て、最低必要医師数をご記入ください(※記入上の注意をご覧ください)。

医師数には、研修医数も含めてください。

診療科別と病院全体の必要常勤換算医師数をご記入ください。

常勤・非常勤を合計し、小数点第2位を四捨五入してください。

	必 要 医師数
01 内科	人
02 皮膚科	人
03 小児科	人
04 精神科	人
05 外科	人
06 泌尿器科	人
07 脳神経外科	人
08 整形外科	人
09 形成外科	人
10 美容外科	人
11 眼科	人
12 耳鼻いんこう科	人
13 産科・産婦人科	人
14 婦人科	人
15 リハビリテーション科	人
16 放射線科	人
17 麻酔科	人
18 病理診断科	人
19 救急科	人
20 病院全体	人

※記入上の注意

現在、産科がない場合でも、地域医療のために貴院では産科医師が必要といった場合には、産科の欄に医師数を入れてください。

貴院の現状の経営状態にかかわらず、お答えください。

※ 本調査においては、上記「01内科」および「05外科」の内訳は、下記のとおりとしています。

内科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

外科：外科、呼吸器外科、循環器外科(心臓・血管外科)、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科

問6. 新医師臨床研修制度施行後、以下のような変化はありましたか？

新医師臨床研修制度導入(2004(平成16)年度)以前と、現在とを比べて、お答えください。
「増加した」「減少した」などを○で囲んでください。

医師の募集・離職、研修医の数については「かなり」は2割以上、「やや」は1、2割を目処にしてください。

(1) 医師募集に対する応募(研修医以外)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した | |

(2) 医師の離職

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した | |

(3) 指導医の負担

- | | | |
|------------|--------------------|----------------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した(いなくなった) | 6. 指導医がいたことはない |

(4) 勤務する医師の活力

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. かなり向上した | 2. やや向上した | 3. 変わらない |
| 4. やや低下した | 5. かなり低下した | |

(5) 病院全体の活力

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. かなり向上した | 2. やや向上した | 3. 変わらない |
| 4. やや低下した | 5. かなり低下した | |

(6) 病院経営上の負担

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した | |

(7) 初期研修医の数

- | | | |
|------------|--------------------|------------------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した(いなくなった) | 6. 初期研修医がいたことはない |

(8) いわゆる後期研修医の数

- | | | |
|------------|--------------------|------------------|
| 1. かなり増加した | 2. やや増加した | 3. 変わらない |
| 4. やや減少した | 5. かなり減少した(いなくなった) | 6. 後期研修医がいたことはない |

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。